

2020年11月26日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社エスエーティに投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社(本社 東京都港区西新橋、取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」)が管理運営する、ニューホライズン3号投資事業有限責任組合(以下総称して「弊社」)は本日付で、株式会社エスエーティ(本社 東京都府中市、代表取締役蔵満 茂、以下「SAT」)に対する投資を実行しましたのでお知らせします。

SAT は、2006年にサン・マイクロシステムズ製品を対象としたIT機器保守の技術支援サービスを提供する企業として設立されました。その後、お客様からの強い要望を実現した「メーカー保守が終了したIT機器に第三者保守を提供する『延命保守』サービス」を中心に、高度な技術と高いサービス品質により顧客からの篤い信頼を積み重ねてきました。同社は、長年の実績により培われたノウハウを活用し、サーバ構築や運用、それに付随するコールセンター業務等、ITインフラに関わる多様なサービスを展開し、その規模・業容の拡大を続けております。

生産性の向上や働き方改革の他、今年のコロナ禍の影響等から企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)需要は日々増えています。そのような環境下にあつて、ITコスト削減効果が期待される第三者保守の市場は今後継続的な拡大が見込まれます。弊社は、第三者保守領域においてSATが有する高度な技術開発ノウハウと実績から、さらなる成長が期待できると判断し今回の投資に至りました。第三者保守によるハードウェアの稼働期間延長は、焼却・廃棄の抑制を通して二酸化炭素(CO2)排出量の低減に寄与します。また、SATは従業員の働きやすさを経営上の優先事項のひとつと位置づけており、ダイバーシティやワークライフバランスの推進にも積極的に取り組んでいます。そのため、本件投資の実行は、弊社の責任投資原則(ESGポリシー)に照らしても社会的意義があるものと考えております。

弊社はガバナンスの強化・顧客獲得の支援等を通して、将来的な株式上場も視野に入れながら、中長期的な目線でSATの成長を加速させていくバリューアップ戦略を進めて参ります。

なお、新しい経営体制として、代表取締役は蔵満茂氏が続投し、弊社から取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 18 年超の実績(独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超)を誇る。現在は、NHC として 3 本目、創業から 9 本目のファンドを運営中。2002 年以來、すべてのファンドの創設時にキーマン(主運用責任者)をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、かがやくコスメ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業など、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(IFC)竹江、高杉 連絡先:03-5532-8921